

兵庫医大 栄養 ○田辺節子、岡部美知子

同 4内 福田能啓、下山 孝

〔目的〕クローン病は原因不明であり、対症療法が主体である。サラゾピリンや副腎皮質ホルモンなどの薬物療法が行われているが再燃防止に関しては充分とはいいがたく、退院後に食事摂取を開始すると再燃することをしばしば経験している。再燃防止の為に、本院では成分栄養剤（elemental diet、E D、エレンタール[®]）を用いた栄養療法を主体に、食事指導を行なっている。今回は、本療法の有用性と問題点及び管理の実際について報告する。

〔対象・方法〕（１）クローン病６８例の維持療法を検討した。（２）在宅維持療法中の症例の食事調査を行い、再燃に関与する因子を検討した。（３）E D療法に加えて、経口摂取したい欲求を満足するために低脂肪・低残渣を基本にして、食品構成を作成し再燃に及ぼす影響を検討した。

〔結果〕（１）E Dによる栄養療法は再燃防止に有用であった。（２）経口的に摂取する脂肪量が多い場合には再燃する傾向にあった。（３）食品の選択と作成した食品構成による食事内容の実施により、良好な経過がえられた。

〔結語〕クローン病の再燃防止にはE Dによる栄養療法が有用である。低脂肪である食事摂取は病勢の悪化を引き起こさず、Quality of lifeの面から有用であると考えられた。食事指導を行なった症例を供覧する。